

第7回アジア学術会議共同声明「今後のSCA」(仮訳)

前文

2001年のバンコクでの開催以降、各国メンバーの協力によりSCA会合は既に6回開催された。我々、SCAのメンバーは、2007年6月14日及び15日に第7回SCA会合を日本の沖縄で開催し、今こそSCAの設立目的に沿った活動強化を目指した一歩を踏み出す時であり、それは各メンバーにとって有益であることを認識した。この重要な一歩は、我々が科学的知見で政府の政策決定に一層寄与するとともに域内メンバー国の関係の緊密化をもたらすであろうことを認識し、我々は、以下のことを全参加者に共有された考えとして確認する。

今後のSCAのための具体的行動

- (1) SCAの設立趣旨を再確認するとともに、今後、アジア各国メンバーの機能強化とアジア共通の課題に対処するために有益な報告をまとめ政策決定者に提言する
- (2) 3年を一期間とする活動の戦略計画を策定することとし、来年中国で開催される第8回会合での決定を目指す
- (3) アジア各国にとって喫緊の課題であるテーマについて共通に取り組む共同研究を新規に立ち上げる。テーマとして、エネルギー、気候変動、水、イノベーション、情報、農業、食料、自然災害、生物多様性、アジアのメンバー機能の強化等が考えられる。年に1~2テーマを総会の決議で選定し、レポートは各国の政府・アカデミー関係者・メディア等に公表する。各共同研究は2年ごとにレビューを行う。また、現行プロジェクトも同様にレビューを行う。
- (4) SCA理事メンバー及びICSUアジア・太平洋地域事務所長であるマレーシアのNordin Hasan教授の提案に基づき、ICSUアジア・太平洋地域事務所との連携を築く
- (5) 上述の共同研究への資金支援を可能にするためにも、公的・民間機関からの資金支援の活用も含め、今後も財政基盤強化のための方策を検討する